

平 2 9 年 度 岡 山 市 市 民 協 働 推 進 モ デ ル 事 業 報 告 書

実 施 団 体	団体名	特定非営利活動法人ポケットサポート （担当者 奥田 修平 ）			
	合同実施団体 （*協議体・実行委員 会等で実施した場合、 構成団体をすべて記載し てください。）				
協働した岡山市の 担当課等と担当者	課名	岡山市保健所 健康づくり課		電話	086-803-1271
	担当者 2名	職名	係長	職名	保健師
		氏名	富岡幸栄	氏名	宮川 絵利加
事業の名称	慢性疾患を抱える子どもの自立を目指す学習・復学支援 および交流を支援する場「ポケットスペース」				
<p>本事業により解決を目指した課題とその成果</p> <p>※アンケートなどあれば添付してください。</p>	<p>厚生労働省の(平成 25 年 調査)によると慢性疾患を抱える小児対象者数は全国で 10 万 8,790 人に上る。岡山市でも約 800 人の子どもたちが対象となっている。慢性疾患を抱える子どもや若年成人の成長を助け、患者が社会で自立できるように支援する取り組みにも大いに改善すべき余地があると、同省からの報告もある。現在、岡山市内には 4 施設 6 学級の入院中の子どもが通う院内学級があるが、子どもが入院できるすべての施設に設置されているわけではない。</p> <p>今年度、院内学級を有しない総合病院で入院中の子どもの学習環境について調査を行うことができた。子どもたちは体調の良い時など入院中に勉強する時間はあるが、1 人で勉強することの難しさや、退院してもすぐに学校へ通うことができず自宅で療養している場合の学習サポートが得られにくい状況が把握できた。また、学校、友だち、家族から離れているという孤独感、勉強の遅れや何もできない状況に対する「不安」を抱える一方、友だちとつながりたい、勉強をサポートしてほしいと「願い」を持って過ごしていることがわかった。ご家族からは病気に対する戸惑い、治療の他にも、入院中からの学習や退院後の生活など様々な面で不安があること、また、病気療養中であっても子どもに対する「学び」や「交流」の機会が継続的に得られる環境を求めていることがわかった。学習・交流支援の必要性は医療者も感じており、ポケットサポートのような病弱児支援を専門に活動している NPO 法人と連携することの必要性を理解していただくことができたことが、この調査の成果でもあると考える。</p> <p>さらに、長期入院を終え、退院し自宅に戻ってもすぐに学校に通学することはできない状況もある。病気を理由に長期欠席している子どもは、平成 26 年度の岡山市の調査によると、小学生 247 人、中学生 243 人であった。医療制度改革により入院期間は短縮され、抗がん剤投与の合間や手術のための検査を待つ期間など数週間でも退院し、外来通院しながら過ごしている。このような状況での復学は困難で、病院内に設置されている院内学級に通うこともできない状況が発生する。</p> <p>この課題解決のため、慢性疾患を抱え自宅療養中や外来通院をしている子どもに対し、学習及び交流活動の場「ポケットスペース」を運営した。利用者は平成 29 年 5 月～平成 30 年 2 月までの期間中のべ 212 名であり、ポケットサポートのスタッフや大学生ボランティアから、学習支援を受け学力の補充だけでなく、知育ゲームを利用し、他者との交流やコミュニケーション支援をすることができた。また今年度は、子どもが入院をしている総合病院 2 か所へ、学習支援者を育成し派遣することができ、さらに多くの子どもたちの支援につながる体制を作ることができたことは大きな成果である。子どもの学習の遅れへの不安軽減だけでなく、交流支援を行うことでスムーズな復学へとつながる一助となった。ある子どもは、入院中にできた学習空白を補うことで自信を取りもどし、試験を受ける意欲も出てきた。ご家族は日々の病気への不安や将来についての相談ができる場となっていた。</p>				

	<p>まだ、地域や社会においては、慢性疾病を抱える子どもの環境について理解が浸透しておらず、子どもとその家族が安心して過ごすことができる社会を作るための啓発を行う必要がある。そのため、病弱児教育の第一人者である昭和大学の副島賢和准教授をお招きした、講演会を開催した。この啓発講演会により、一般市民、教育・医療・行政に関わる方や将来子どもの支援に携わる学生約 220 名に対し、慢性疾病の子どもの置かれている環境や支援の必要性など、参加者それぞれの立場で学ぶことができる機会となった。慢性疾病を抱える子どもの理解者増や支援者のつながりが生まれ、今後の支援につながる一助となったと考える。</p>
<p>市と協働した内容と協働の効果</p>	<p>1. 団体が果たした役割 慢性疾病を抱える子どもの自立を目指す学習・復学支援及び交流を支援する場「ポケットスペース」の運営管理を行い、子どもたちが安心して過ごしながらか相互交流や学習ができる環境を提供した。学習支援者の約30名の育成と派遣をすることにより、新たに市内総合病院2か所に支援活動を展開することができた。理解啓発のための講演会の企画提案と実施を行い約220名に啓発することができた。</p> <p>2. 岡山市の担当課等が果たした役割 事業の企画及び実施にあたり、助言を行う。必要に応じて、関係機関への調整を行う。活動の場の現認、対象者のニーズの把握に努め、市の事業化に向けて取り組む。同時に、活動が継続的に運営のできるための方向性について検討し、助言する。</p> <p>3. 協働した効果 岡山市健康づくり課と協働することにより、市内総合病院への協力体制が構築され、新たな支援活動開始や学習環境調査を行うことができた。また、岡山市教育委員会への訪問にも同行頂き、連携強化を行えた。市教育委員会に講演会の案内を依頼することができ、教育関係者の参加者増につながった。講演会においては市協働の効果も高く、多くの参加者に社会課題の現状を伝えることができ、他の支援団体とのネットワーク構築にもつながった。健康づくり課との定期的な運営会議により、互いの思いや考えを共有しながら事業を進めることができた。将来的に小児慢性特定疾患児童等自立支援事業の実施団体となることを目的としているため、ニーズの確認や予算の吟味など実態を明らかにしながら制度づくりに向けて検討することができた。</p>
<p>事業の内容</p> <p>※事業内容が具体的にわかる資料を添付してください。(チラシ、報告書、写真等)</p>	<p>1. 慢性疾病を抱える子どもの自立を目指す 学習・復学支援及び交流を支援する場「ポケットスペース」の運営 期間中の利用者はのべ212名であった。子どもたちは安心した様子で、ボランティアの大学生とともに楽しく学習や他の友だちと交流することができていた。ときには悩みを話す子どもや保護者もあり、精神的な支援も行うなど、利用者の特性に合った運営を行うことができた。また「ポケットスペース」の支援は医療・福祉・教育を学ぶ学生にとって、慢性疾病を抱える子どもへの理解の場にもなっている。</p> <p>2. 院内学級を有しない総合病院における学習環境調査と、調査結果レポートの作成 岡山市内の院内学級を有しない総合病院に入院をしている子どもとご家族に対し、学習環境調査をおこなった。調査結果から、「学び」や「交流」の途切れが、子どもやご家族にとって「不安」に繋がることが示唆された。どのような環境においても、「学び」や「交流」の機会を継続的に提供することが治療への意欲も生み、子どもの自立に向けた学びの保障できる社会環境をつくっていく一助になると考えられる。</p>

	<p>3. 病気の子どものための環境理解のための講習会や講演会 平成 29 年 7 月 30 日に昭和大学の副島賢和准教授をお招きし、岡山大学鹿田キャンパス J ホールにて、一般市民、教育・医療・行政に関わる方や学生を対象とした講演会を行った。病気の子どもの支援団体との交流ブースや大学生による病弱児支援に関するポスター展示など、支援者のつながりや理解啓発の機会となった。(参加者約 220 名)</p>																																														
<p>事業実施の体制 ・実施者名</p>	<p>1. 総括責任者 ポケットサポート 代表理事 三好 祐也 2. 個別事業責任者 ポケットサポート ICT プロデューサー 奥田 修平 3. その他事業従事者 役割・氏名 山口 そのえ (医療関係者、調査事業での病院との連絡調整) 松本 圭子 (教育関係者、講演会・啓発事業) 下川 紘生 (事務補助) 豊田 浩貴 (事務補助)</p>																																														
<p>事業実施経過</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月27日</td> <td>特別授業①「知育ゲーム交流会」実施</td> </tr> <tr> <td>5月31日</td> <td>ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)</td> </tr> <tr> <td>6月1日</td> <td>ポケットサポート事務所でのポケットスペース (学習支援) 開始</td> </tr> <tr> <td>6月6日</td> <td>岡山市教育委員会指導課 訪問・事業説明・連携</td> </tr> <tr> <td>6月21日</td> <td>ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)</td> </tr> <tr> <td>6月29日</td> <td>平成 28 年度市協働事業の成果報告会</td> </tr> <tr> <td>7月6日</td> <td>岡山医療センターにて打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>7月7日</td> <td>講演会会場 下見。会場説明</td> </tr> <tr> <td>7月18日</td> <td>ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)</td> </tr> <tr> <td>7月22日</td> <td>特別授業②「科学実験教室」実施</td> </tr> <tr> <td>7月30日</td> <td>講演会開催 講師：昭和大学 副島賢和先生</td> </tr> <tr> <td>8月1日</td> <td>岡山済生会総合病院にて打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>8月9日</td> <td>市協働事業の中間評価ミーティング実施</td> </tr> <tr> <td>8月15日</td> <td>岡山済生会総合病院にて打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>8月31日</td> <td>ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)</td> </tr> <tr> <td>9月1日</td> <td>岡山済生会総合病院でのポケットスペース (学習支援) 開始</td> </tr> <tr> <td>9月21日</td> <td>ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)</td> </tr> <tr> <td>9月30日</td> <td>特別授業③「アートコレクション」実施</td> </tr> <tr> <td>10月6日</td> <td>岡山医療センターにて打ち合わせ</td> </tr> <tr> <td>10月18/19日</td> <td>市協働パネル展 伊オン岡山</td> </tr> <tr> <td>10月24日</td> <td>ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)</td> </tr> <tr> <td>11月12日</td> <td>特別授業④「ロボットプログラミング体験」実施</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	実施内容	5月27日	特別授業①「知育ゲーム交流会」実施	5月31日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)	6月1日	ポケットサポート事務所でのポケットスペース (学習支援) 開始	6月6日	岡山市教育委員会指導課 訪問・事業説明・連携	6月21日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)	6月29日	平成 28 年度市協働事業の成果報告会	7月6日	岡山医療センターにて打ち合わせ	7月7日	講演会会場 下見。会場説明	7月18日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)	7月22日	特別授業②「科学実験教室」実施	7月30日	講演会開催 講師：昭和大学 副島賢和先生	8月1日	岡山済生会総合病院にて打ち合わせ	8月9日	市協働事業の中間評価ミーティング実施	8月15日	岡山済生会総合病院にて打ち合わせ	8月31日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)	9月1日	岡山済生会総合病院でのポケットスペース (学習支援) 開始	9月21日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)	9月30日	特別授業③「アートコレクション」実施	10月6日	岡山医療センターにて打ち合わせ	10月18/19日	市協働パネル展 伊オン岡山	10月24日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)	11月12日	特別授業④「ロボットプログラミング体験」実施
月 日	実施内容																																														
5月27日	特別授業①「知育ゲーム交流会」実施																																														
5月31日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)																																														
6月1日	ポケットサポート事務所でのポケットスペース (学習支援) 開始																																														
6月6日	岡山市教育委員会指導課 訪問・事業説明・連携																																														
6月21日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)																																														
6月29日	平成 28 年度市協働事業の成果報告会																																														
7月6日	岡山医療センターにて打ち合わせ																																														
7月7日	講演会会場 下見。会場説明																																														
7月18日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)																																														
7月22日	特別授業②「科学実験教室」実施																																														
7月30日	講演会開催 講師：昭和大学 副島賢和先生																																														
8月1日	岡山済生会総合病院にて打ち合わせ																																														
8月9日	市協働事業の中間評価ミーティング実施																																														
8月15日	岡山済生会総合病院にて打ち合わせ																																														
8月31日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)																																														
9月1日	岡山済生会総合病院でのポケットスペース (学習支援) 開始																																														
9月21日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)																																														
9月30日	特別授業③「アートコレクション」実施																																														
10月6日	岡山医療センターにて打ち合わせ																																														
10月18/19日	市協働パネル展 伊オン岡山																																														
10月24日	ミーティング実施 (健康づくり課、ポケットサポート)																																														
11月12日	特別授業④「ロボットプログラミング体験」実施																																														

	11月16日	岡山医療センターにて打ち合わせ
	11月21日	岡山済生会総合病院にて打ち合わせ
	11月30日	ミーティング実施（健康づくり課、ポケットサポート）
	11月30日	岡山医療センターでのポケットスペース（学習支援）開始
	12月10日	フォローアップ研修実施（個人情報保護、感染症対策の講義）
	1月9日	ミーティング実施（健康づくり課、ポケットサポート）
	1月14日	特別授業⑤「バレンタインチョコづくり」実施
	1月25日	ミーティング実施（健康づくり課、ポケットサポート）
	1月30日	岡山医療センターにて打ち合わせ
	2月16日	ニーズ調査報告書の完成
	2月17日	特別授業⑥「知育ゲーム交流会・保護者座談会」実施
	2月25日	病弱児教育支援シンポジウムにてニーズ調査報告書配布
実施上で連携した団体とその内容	名称	期待される役割
	岡山市教育委員会	助言と情報共有
	岡山市小児慢性特定疾病児童等相談支援センター	講演会・交流会の情報共有 等
	岡山大学病院をはじめとする小児病棟を有する市内総合病院	学習支援事業への理解及び学習支援場所の提供
	岡山市内及び県内の大学教育・医療・福祉に関連する学部・学科	学習支援活動を行うボランティア大学生の窓口、講演会開催の紹介の場を設ける
	患者会・保護者会	情報交換、講師派遣依頼
本事業を踏まえた、翌年度以後の予定	<input checked="" type="checkbox"/> NPOがネットワークを構築し、他団体と連携し実施する予定。 <input checked="" type="checkbox"/> 岡山市の一般施策として実施する予定。 <input checked="" type="checkbox"/> 翌年度も協働で実施する予定。 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
	----- 具体的な計画があれば記載してください。	

平成29年度市民協働推進モデル事業収支決算書

事業名	慢性疾病を抱える子どもの自立を目指す学習・復学支援および交流を支援する場「ポケットスペース」
-----	--

<収入>

費目		金額	内訳
自己資金	実施団体	421,205	会費、寄附、他助成金等の自己資金
	その他	0	
自己資金等合計(a)		421,205	
事業収入	該当なし	0	
事業収入合計(b)		0	
その他収入	該当なし	0	
その他収入合計(c)		0	
岡山市補助金決定額(d)		1,678,091	
収入合計(e) = (a)+(b)+(c)+(d)		2,099,296	

<支出>

費目	金額	内訳	証拠書類番号
①「ポケットスペース」運営 【総額】1,604,869円（補助金：1,424,928円、自己資金：179,941円）			
印刷製本費	35,428	スペース開催チラシ 6,050円×2種類 イラスト素材購入 3,240円×2種類 看板タペストリー 4,212円×4種類	①
消耗品費	46,271	文具、マスク、参考図書、名札、用紙等	②
旅費	152,000	ボランティア交通費 800円×190回	③
人件費	1,237,500	病弱児への学習指導@1,500円×341時間 ボランティアコーディネーター@1,500円×396時間 事務補助@1,000円×90時間 総合病院での学習支援@1,500円×28時間	④
報償費	120,000	5/27特別授業 10,000円×1人 7/22特別授業 5,000円×5人 9/30特別授業 10,000円×2人 11/12特別授業 5,000円×4人 1/14特別授業 5,000円×5人 2/17特別授業 5,000円×4人	⑤
使用料	13,670	9/30特別授業 ゆうあいセンター会場費 2/17特別授業 きらめきプラザ会場費	⑥
②講演会による啓発活動 【総額】398,381円（補助金：177,117円、自己資金：221,264円）			
印刷製本費	110,377	講演会チラシ印刷 10,920円 講演会当日配布資料印刷 24,389円 ポケットファイル印刷 300枚 21,600円 講演会ポスター、掲示物等印刷 53,468円	⑦
通信運搬費	22,652	講演会開催案内チラシ郵送費	⑧

事業実施経費

使用料	33,114	講演会記録用ビデオカメラレンタル4,980円 講演会サブプロジェクターレンタル28,134円	⑨
旅費	39,540	講師前泊宿泊費 22,000円 東京→岡山 講師新幹線片道 17,540円	⑩
報償費	54,000	講演会講師講演料 30,000円 講演会出張託児依頼 24,000円	⑪
人件費	126,000	事務補助 1,000円×73時間 準備・当日運営スタッフ 4,000円×12人 司会者 1人×5,000円	⑫
食糧費	2,098	当日運営スタッフ用お茶 1,834円 講師用 お水・おしぼり 264円	⑬
消耗品費	10,600	腕章、ファイル、養生テープ等	⑭
③院内学級を有しない総合病院のニーズ調査 【総額】96,046円（補助金：76,046円、自己資金：20,000円）			
印刷製本費	26,046	コピー用紙、インク等 10,085円 ニーズ調査報告書印刷1,000枚 9,780円 ニーズ調査報告タペストリーA1 6,181円	⑮
人件費	70,000	報告書作成事務補助 1,000円×20時間 報告書原稿作成 1,000円×50時間	⑯
事業実施経費合計(f)	2,099,296		
管理運営経費		0	
管理運営費合計(g)	0		
総事業費(h) = (f)+(g)	2,099,296		